

第83回接続料の算定等に関する研究会 ご説明資料

2024年4月16日
ソフトバンク株式会社

- 1. 加入DF等の提供遅延に係る協議状況**
2. 各課題の具体内容
3. まとめ（当社要望）

1. 加入DF等の提供遅延等の協議状況

主に下記5つの課題について、NTT東西殿と改善協議中

項番	課題	状況
(1)	工事延期・事故付きによる開通遅延	概ね改善傾向
(2)	アクセス工事の同意取得難航による工期長期化	課題あり
(3)	申込時に求められる情報の格差による手続き長期化	課題あり
(4)	NTT東西間における開通プロセスの運用差分	課題あり
(5)	NTT局舎移転の全体工程、方式等の諸課題	課題あり

1. 加入DF等の提供遅延に係る協議状況
- 2. 各課題の具体内容**
3. まとめ（当社要望）

2. (1) 工事延期・事故付きによる開通遅延

NTT東西殿と発生状況を定期的に確認・対策を検討中
遅延問題は改善傾向(全国・エリア単位での大規模開通遅延は発生していない)

【当社要因*1】

構成員限り

要因	工事日延期		当日事故付き	
	NTT東	NTT西	NTT東	NTT西
お客様都合				
立会不可 入館手続不備				
その他				

▶ 手続き徹底のための顧客調整担当へ周知実施

【NTT東西殿要因*2】

構成員限り

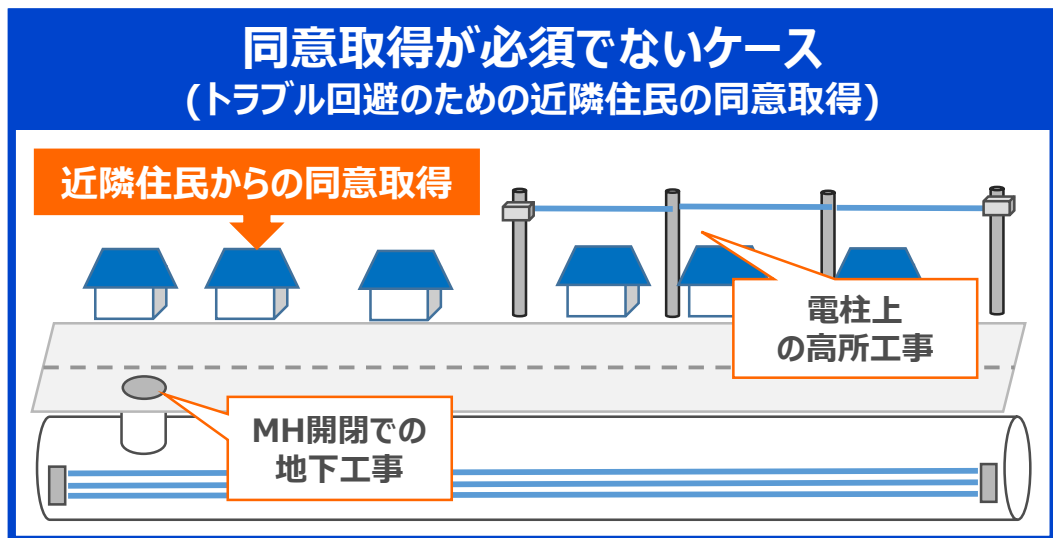
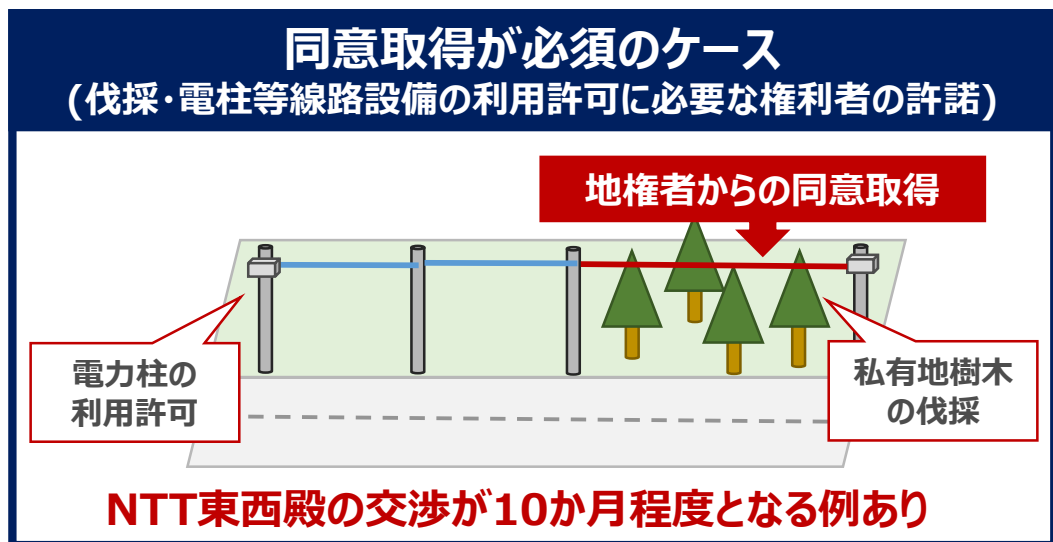
要因	NTT東日本	NTT西日本
芯線不良		
アクセス工事未完了		
NTT設備登録不備		
設場(PD)不一致		
その他		

▶ 別回線でのリカバリ・工事担当者へ周知実施

▶ 工事協力会社へ指導
(開通工事前アクセス工事完了の徹底・工事未了時の早期連絡)

2. (2)アクセス工事の同意取得難航による工期長期化

アクセス工事での**同意取得が難航し、提供遅延に繋がるケースあり**



交渉の長期化を避けるべく、
交渉期限を設ける等一定ルールが必要

【期限超過時の対応（案）】

- ① 交渉期限経過後には別ルートで再設計
- ② 再設計困難な場合は、提供不可回答
- ③ 文書周知のうえ工事着手(同意取得が必須でない場合)

2. (3) 申込時に求められる情報の格差による手続き長期化

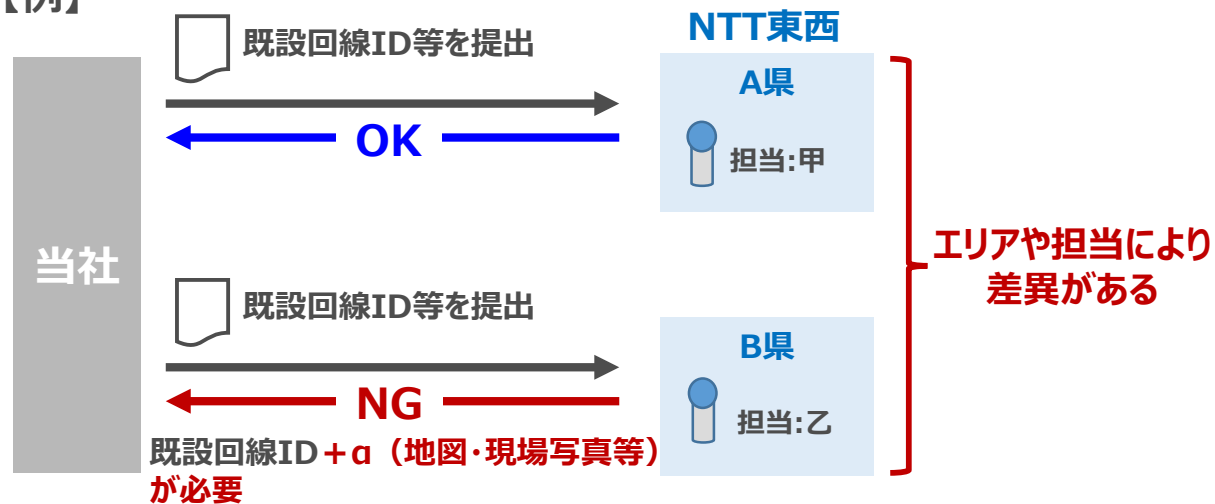
NTT東西殿に**設計時に提出を求められる資料について、エリア差・担当差がある**

➤ **設計に必要な資料の明確化と統一化を要望**

(その他の要因については、事例をもとに不備率低減に向けて取り得る手段を協議中)

提出を求められる情報に差異がある可能性

【例】

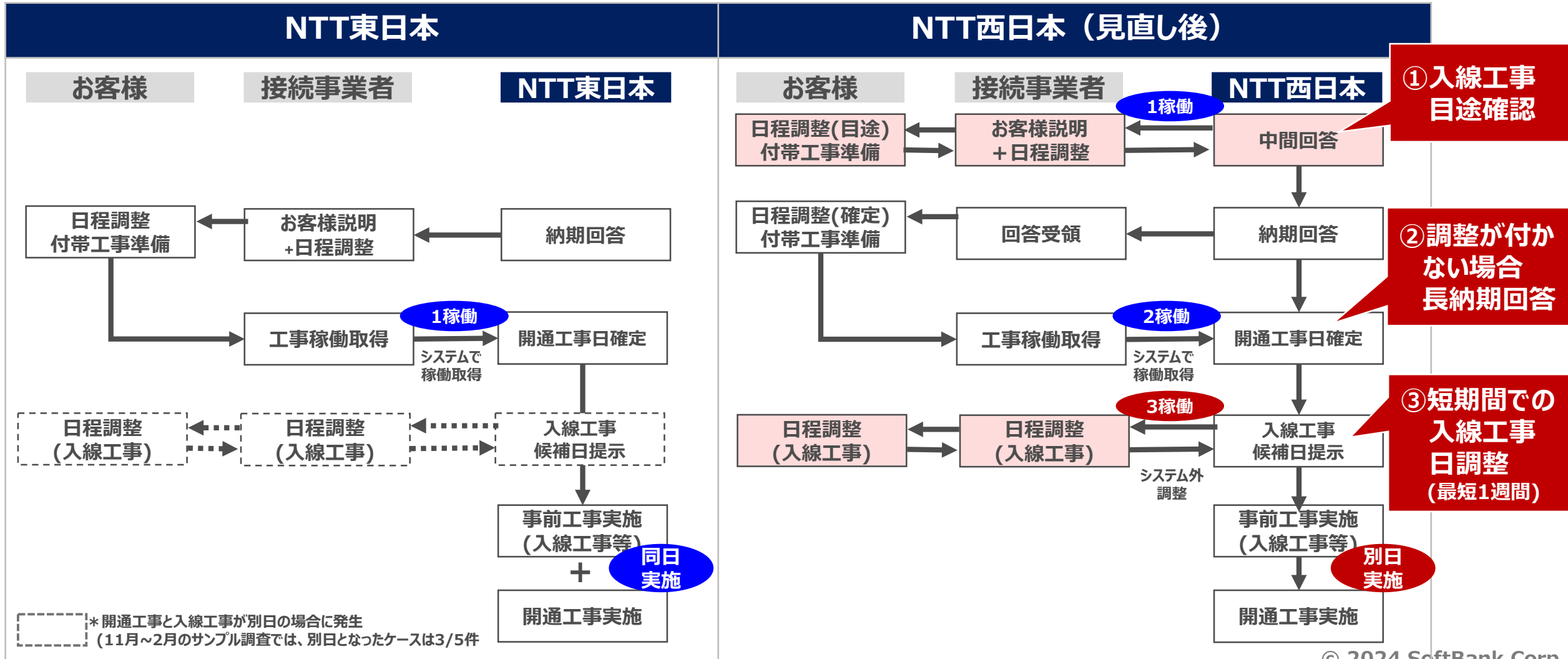


一般的に設場 (PD) が特定できない場合に追加資料の提示が求められるが
地図や現場写真などのPD特定には不要と考えられる追加情報の提示が求めら
れるケースもあり(両社で実態確認中)

構成員限り

2. (4)NTT東西間における開通プロセスの運用差分

「開通/入線工事の1稼働調整 および 同日工事実施」について、NTT西日本殿と協議中
(NTT東日本殿においては、直近実績4割は同日工事)



2. (4)NTT西日本殿の具体的課題

寧ろ従来よりも開通までに必要な工数が増加しており、
NTT東日本殿と同様の運用を希望

項目	事柄 (NTT西日本⇒接続事業者)	問題点
①入線工事目途確認	入線工事日程目途の 問い合わせ (NTT西日本⇒接続事業者)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 従来不要だった工程であり、お客様との調整工数増 (NTT東日本殿では発生しないアクション) ➤ ダミー情報での回答も許容されるなど、必要性に疑問
②調整が付かない 場合の長納期回答 (2年後12月を仮置き)		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 入線工事目途が立たない場合、納期の見込み回答が2年後の12月へ上書きされ、お客様との日程調整に混乱が生じる
③短期間での入線 工事日日程調整	入線工事日程候補の 提示が開通工事の 1週間前(最短で)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 開通工事まで日程的に余裕がない場合、お客様との調整が困難

2. (5)NTT局舎移転の全体工程、方式等の諸課題（前提）

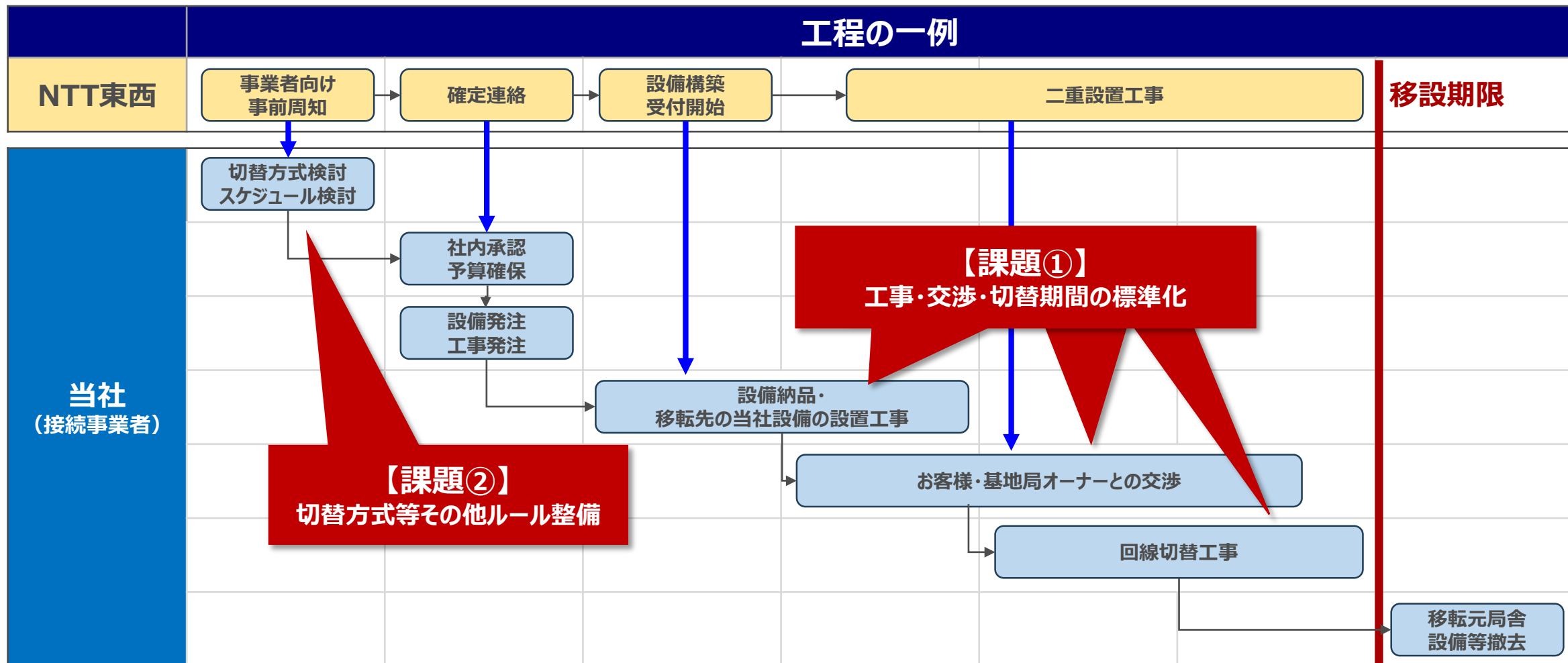
再開発や老朽化等に伴うNTT局舎の建替えや移設が行われる状況で、
FY21からは**移転案件が複数発生**（No.3以降は全国的に見ても大規模な局舎）

【NTT局舎移転 事例一覧】

No.	状況	エリア	GCビル	回線数	支障移転理由と施策内容	設備設置・切替スケジュール

2. (5)全体工程と整理すべき課題

規模により**設備構築**や**お客様調整**等に**数年単位の期間**を要し、**費用負担**も大きい
過去実例も踏まえ、主に**2つの課題**について整理を要望



ビル廃止の正式決定から切替期限まで2年程度しかなく、お客様交渉や回線切替調整に多大な負荷が発生

構成員限り

	FY21	FY22	FY23	FY24	構成員限り
NTT東日本 対応事項					
当社設備設置					
お客様調整					
回線切替 (光ファイバ)					
設備撤去					

大規模な建物においては屋内配線工事の設計箇所が多数存在することから、ビルオーナー調整が難航しNTT西日本殿の納期回答に1年以上かかるケースあり

➔ 数年単位の余裕を持った切替期間の設定が必要

【納期回答までの日数】

建物	最大	平均	対象申請	事例
	404日	275日		
	509日	366日		
	160日	64日		
	317日	147日		

構成員限り

構成員限り

構成員限り

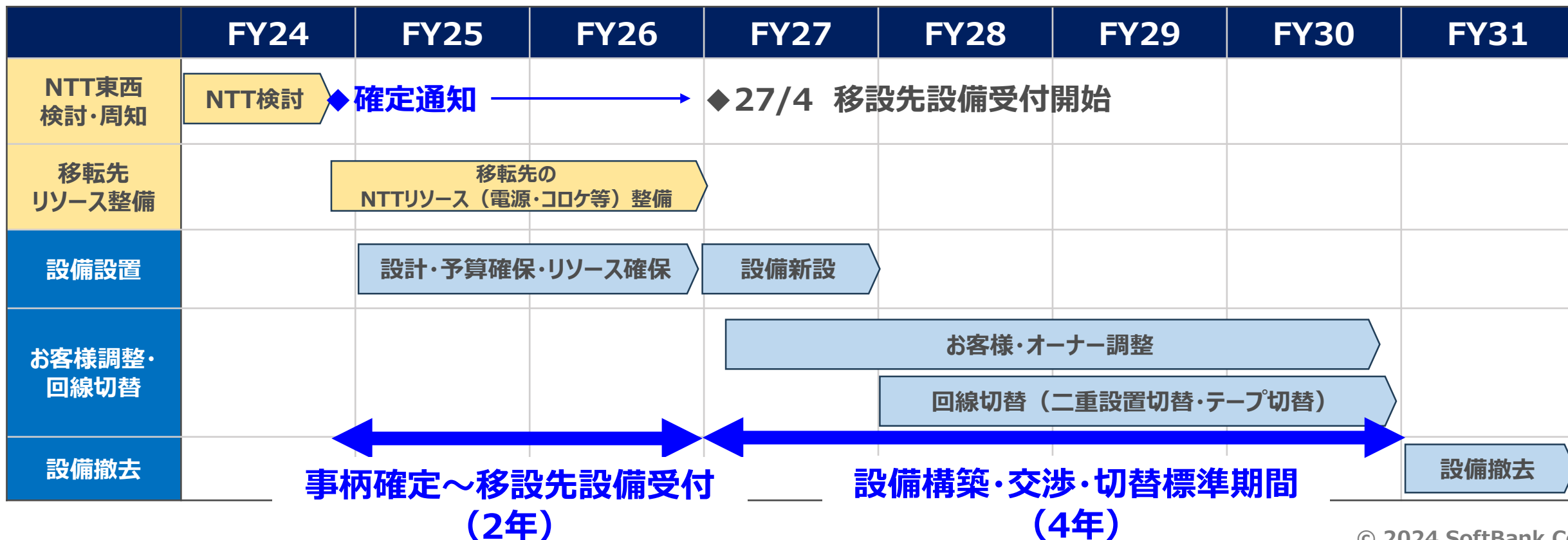
当初設定された
切替期間が
大幅に延長

2. (5)課題① (工事・交渉・切替期間の標準化) に関する当社の考え

大規模ビル (数十ラック、回線収容数千回線規模) に関しては**標準期間のルール化が必要**

- ✓ 移設先設備受付開始の**2年前まで**に事柄確定
- ✓ 事業者側の設備構築・交渉・切替期間として**4年を確保**

【NTT局舎移転の標準スケジュール (案)】



2. (5)課題② (切り替え方式) に関する当社の考え

お客様への影響を最小化するため、回線の**二重設置切替**は必須

- ✓ 基地局回線や法人回線は深夜・早朝の切替が必須かつ長時間の通信断がNG
- ✓ テープ切替の場合、NTT東西殿の切替作業、事業者側の設定変更、宅内側作業との同期が必要で調整困難
- ✓ テープ切替の場合、切替後の回線品質の担保が出来ず、同一テープ内の他社回線がNGの場合は切り戻し対応が発生

No.	方式	構成
1	二重設置切替	
2	テープ切替※	

※テープ切替とは、光ファイバの芯線を束ねるテープ単位で一気に切り替える方法

1. 加入DF等の提供遅延に係る協議状況
2. 各課題の具体内容
3. **まとめ（当社要望）**

項番	課題	要望内容
(2)	アクセス工事の同意取得難航による工期長期化	<ul style="list-style-type: none">➤ 交渉期限を設ける等のルール整備➤ 交渉期限超過時の対応整理
(3)	申込時に求められる情報の格差による手続き長期化	<ul style="list-style-type: none">➤ 接続申込時に提出が必要な資料の明確化・統一化
(4)	NTT東西間における開通プロセスの運用差分	<ul style="list-style-type: none">➤ NTT東日本殿の運用に倣い、NTT西日本殿の運用フローの見直し
(5)	NTT局舎移転の全体工程、方式等の諸課題	<ul style="list-style-type: none">➤ 切替標準期間のルール化➤ 二重設置方式採用及び二重設置期間中における新設側費用（コロケーション費用・回線費用）の非請求

EOF